

町民憲章

わたくしたち長南町民は、
豊かな自然と伝統ある郷土を愛し、
うるおいとやすらぎに満ちた
理想のまちづくりをめざして、
この憲章を定めます。

わたくしたちは

- 一. 資源を生かし
豊かな町をつくりましょう。
- 一. 仕事に励み創意をもって
活力ある町をつくりましょう。
- 一. ルールを守り
安全で住みよい町をつくりましょう。
- 一. いたわり助け合い
健康で明るい町をつくりましょう。
- 一. スポーツに親しみ教養をたかめ
香り高い文化の町をつくりましょう。



町の草花「ペニバナ」



町の鳥「ウグイス」



町の木「ヒノキ」



町の花木「サクラ」

長南町



町章

「長ナン」をデザインの基本として、特に「ナン」は4ヶ町村合併（庁南町、豊栄村、東村、西村）を表し、4本の力強い線で結びつけ、中央の空間は大きな理想と希望と限りない発展をイメージさせています。



長南町マスコットキャラクター「ちょな丸」

全体的には「長南袖風」をイメージし、顔は「レンコン」、ちょんまげは「しいたけ」、胸には「紅花」の家紋の入った着物を着ています。袖口には、「枝豆」柄の模様があり、風に乗って空からみんなを見守っている男の子です。



発行にあたって

長南町町勢要覧2025・長南町合併70周年記念誌をご覧の皆さま、長南町長の平野貞夫です。本誌の発行に際しまして、ご挨拶を申し上げます。

本町は昭和30年2月11日合併以来、70年余りが経過いたしました。この間目まぐるしく変わる地方自治制度の下で幾多の試練を乗り越えて着実に発展してまいりました。これも町民の皆さま方の郷土愛と併せて英知と努力の賜物であり、誠に同慶にたえません。

さて、町勢要覧は本町の文化・歴史・施設や産業等、町を総合的に紹介する最大のPR誌です。本年は長南町合併70周年という節目の年となりました。今回は、5年ぶりに内容をリニューアルしただけでなく、合併70周年記念誌との合同誌となっており、長南町が誕生した年と同世代の皆さまに、子どものころの長南町や70年を振り返って思うことなどをお聞きました。

また、若い世代にも興味をもってもらえるよう二次元バーコードを読み取ることで町内にある観光スポットなどをご紹介しますので、ぜひスマートフォンをかざしてご家族の皆さまで楽しみながら、長南町のことを知っていただけると幸いです。



長南町長 平野 貞夫



教育長 糸井 仁志 町長 平野 貞夫 副町長 佐久間 静夫

名誉町民



故・田中 豊氏

衆議院議員在任中の昭和24年、庁南中学校の建設資金の一部として、その歳費全額を町に寄託されたのはじめ、43年には豊会館の建設費、47年に長南小学校の整備費用、48年に町民のバス「ゆたか号」購入資金、そのほかにも、毎年歳末助け合い運動などに多額の寄付をされるなど、本町の教育の振興、住民福祉の向上に大きく貢献されました。

こうした数々の功績により、昭和51年4月29日に勲三等瑞宝章が贈られ、また昭和63年5月16日には正五位に叙されました。



故・加藤 邦男氏

昭和23年11月庁南町長に就任。昭和30年2月の町村合併を実現させ、新生・長南町の初代町長に当選、以来昭和44年12月死去するまで、町政発展、住民福祉の向上に尽くされました。

この間、供米問題、六三制整備、町村合併などに多大な功績を残す一方、長生郡町村会長、県町村会長、全国町村会常任理事など県内外にわたり60有余の公職を歴任、広く地方自治の振興に貢献されました。

その功績により、昭和44年12月24日正六位勲五等双光旭日章が贈られました。

「ただいま、おかえり」
心のふるさと長南

CONTENTS

長南町合併70周年 70歳インタビュー 今日まで、そして明日から	4	～未来へつなごう～『廃校活用』 新庁舎ができるまで	14
長南町合併70周年 記念イベント 思い出とともに	6	長南町行政	16
長南町歴史絵巻 時空を超えて 出会うものたち	8	統計資料で見る長南町	23
長南町の歩み	10	長南タウンマップ	32
		長南町歳時記	33

今日まで、そして明日から



長南町合併70周年
70歳インタビュー

質問内容

- Q1 子どもの頃・長南町にきた頃の長南町はどんな所でしたか？
- Q2 70年を振り返って思うことは？
- Q3 普段は何をされていますか？(畑仕事、趣味など)
- Q4 現在、70歳 これからやりたいことやチャレンジしたいことはありますか？
- Q5 今後、長南町がどう変わってほしいですか？

西野 京子 さん (長南町長南)



友だちに誘われて週に1回、ソフトエアロビに行っています。音楽に合わせて歩いたりゆったり身体を動かしたりしています。そこで出会った人たちとの会話も楽しんでいます。身体も心も「美しい70代」でいられたらと思います。

A5 人口がどんどん減っている寂しさは感じています。インターを活用した施設ができれば賑やかになるのかな。もう一つは、移住をしてきてくれる方たちが町の魅力を伝えるために活動しているのをすごく感じますね。

この町ってみんなが温かいじゃないですか、高齢者が幸福に暮らせるように、若い人たちが住みたいと思えるような環境ができたらいかなと思っています。

松崎 繁 さん (長南町地引)



以前はお祭りで子ども神輿も出していたがだんだん子どもが少なくなり、隣の集落の子どもたちにお願いで行ったこともあった。

A1 自分が子どもの頃はもっと活気があった。子どもの数も中学のころは7クラス(300人)ぐらいだったから。

A2 70年生きてきて感じている事は子どものころから本当に人に恵まれてきた。職場、仲間、誰に感謝していいかわからないくらい。

自分が25、6歳の時、父親の目が突然見えなくなっていました。そのため、地域の付き合いも出るようになったことが大変だった記憶があるが、何も知らない自分に対して、地域の方はいかがいってくれた。そこでも、恵まれていると感じている。

今は、中学の同級生4人で月に一度自分の家に集まるんです。退職してからだからもう10年ぐらい続いていて、お弁当を買ってきてみんなでじゃんけんして勝った順に好きなお弁当を選ぶ。その瞬間は童心に返ります。

A3 42年間消防に勤務し、60歳で定年してから役場の宿直などを3年ほど勤めました。

趣味はゴルフで月1回ゴルフをしていますね。好きなスポーツはゴルフや野球ですね。基本、体を動かすのが好きなので。ゴルフを始めて我慢を覚えましたが、それと野球はバッターとの駆け引きなんです。騙し合いながら試合をしました。でも、この経験が日常の対人関係に役に立ったと思っています。

A4 退職してから妻と年に5、6回ほど旅行に行っています。ツアーに参加したり友達夫婦と旅行をしたりで今は行かない県の方が少ないくらいになっています。旅行先を選ぶ理由としてサミットを行っているホテルを予約し旅行にいっていました。元気に動けるうちは、妻との旅行を続けていきたいと思っています。

A5 期待は出来ないが人口が増える事ですかね。

A1 長南町には25歳から住んでいます。

長南町にきた頃は空き家もないし、3世代一緒に暮らしている家族が多かったです。当時は地区で潮干狩りに行っていました。子どもたちが小学生の時は子ども会があり、お祭りでお囃子をやり御神輿も出ていました。あの頃は活気がありましたね。

A2 長南町のキャッチフレーズ「ただいま、おかえり」心のふるさと長南。こういう生活をしていきたいなと思っています。

仕事の関係で子どもたちは長南から通えないので町から出ています。帰省するとストレスを発散し、気持ちをリセットして帰っていきますね。

これからも長南町は「ただいま、おかえり」って思える環境であってほしいです。

A3 刺しゅうが好きで、できあがると額に入れて飾っています。現在、日本赤十字社奉仕団で活動をして1年経ちます。奉仕団のメンバーは私を含め現在4人です。活動をされている3人の方から話を聞くと知らなかった事が多かったです。活動が引き継がれて今があるんだなって思いました。

活動として、三角巾の使い方を教えてもらったり、高齢者にマフラーを編みお祝いで渡したりしました。皆さんにお会いできて力をもらいました。

A4 自分のスキルを活かしたボランティアをやりたいです。刺しゅうや編み物は続けたいですね。

藤平 由之 さん (長南町長南)



A3 父親が農業をやっていたので引き継いで兼業農家ですね。田んぼを維持するために、草を刈って翌年のための粗おこしを行います。この作業が終わると自宅の周辺をきれいにしています。

今は、週に一度ですが公民館で夜間に行く教室の管理をやらせてもらっています。

A4 8月までアルバイトをしていたので、家のことで手が回らなかったことがたくさんあり、今は新しくやりたいことを考えられないです。

家のことはやって行かなくてはいけませんので、その中で楽しみを見つけていきたいですね。

A5 長南町は寝るところで、仕事は町外に行っています。自分に合った魅力のある職場が少ないから、他の選択になっちゃうんですね。

古民家を生かして、町外から来る方も町で生まれた人もどちらにもいいと感じられる場所づくりが出来たらいいですね。

A1 物が豊富だったり、余裕がある時代ではなかったが毎日楽しく過ごしていた。

私が子どもの頃は遊びが中心でちゃんとした施設はなかったけれど、身の回り全部が遊び場だった。

学校が終わった後も約束をするわけでもなく集まって遊んでいましたね。暗くなったら帰る感じでした。

遊び道具もないから周りにあるものを使ったり空き地で遊んだり、工夫しながら遊んでましたね。

A2 長男だから後を継ぐのが当たり前だと思って小学校の時から一緒に店の手伝いをしていた。

大学を卒業後8年間民間の会社で働いていたが、父親が身体を壊したことがきっかけで商店を継ぐことになった。

もともと自分の好きなことがあったら違う人生だったかな。でもそれ以上に店を継がなくてはという思いでやってきた。今の仕事に全く後悔はないですね。

A3 高校からコーラスをやっていたから歌を歌うのは好きですね。

町の長南コーラスに入っていて5月と11月の文化祭でも発表しています。

また、何かの機会に町に恩返しをしたいと思って、行事などは極力参加しています。

A4 穏やかに過ごせるかに趣を置いてしまう。

ずっと成長するのが理想的だと思えますが、現状維持の中で趣味的なこととか人とのつながりだとかその辺をいろいろやってみたい。人とのつながりを大切にしたい社会貢献、町への恩返しをしていきたいです。

A5 昔は街中だけですが、てまかなえたり賑わいもあった。この賑わいをも一度というのは共感できるが現実は無理だと思います。

過疎に執着せず、それを含めてどうするか、少ないなりに町民が穏やかで安心して暮らせるよう考えてほしい。

関本 好 さん (長南町小沢)

今は寄り道をしている暇はないので少人数なだけで中身の濃いお付き合いをしています。

A5 新しい力が入ってきて、再生というよりも新しい活動拠点として若い人たちが積極的に自分のために活動してもらいたい。

決して引けを取ったり卑屈になることはない、もっともっと積極的に世の中に町をアピールして、若い方が魅力を感じて集まるようになってほしいなと思う。

最近では出席できる人と出席できない人が決まってきたりしてメンバーは変わらなくなってきたりしたけれど、同窓会が楽しみのひとつですね。

鶴岡 國孝 さん (長南町本台)



大学を卒業後8年間民間の会社で働いていたが、父親が身体を壊したことがきっかけで商店を継ぐことになった。

もともと自分の好きなことがあったら違う人生だったかな。でもそれ以上に店を継がなくてはという思いでやってきた。今の仕事に全く後悔はないですね。

A1 自分が子どもの頃はもっと活気があった。子どもの数も中学のころは7クラス(300人)ぐらいだったから。

A2 70年生きてきて感じている事は子どものころから本当に人に恵まれてきた。職場、仲間、誰に感謝していいかわからないくらい。

自分が25、6歳の時、父親の目が突然見えなくなっていました。そのため、地域の付き合いも出るようになったことが大変だった記憶があるが、何も知らない自分に対して、地域の方はいかがいってくれた。そこでも、恵まれていると感じている。

今は、中学の同級生4人で月に一度自分の家に集まるんです。退職してからだからもう10年ぐらい続いていて、お弁当を買ってきてみんなでじゃんけんして勝った順に好きなお弁当を選ぶ。その瞬間は童心に返ります。

A3 42年間消防に勤務し、60歳で定年してから役場の宿直などを3年ほど勤めました。

趣味はゴルフで月1回ゴルフをしていますね。好きなスポーツはゴルフや野球ですね。基本、体を動かすのが好きなので。ゴルフを始めて我慢を覚えましたが、それと野球はバッターとの駆け引きなんです。騙し合いながら試合をしました。でも、この経験が日常の対人関係に役に立ったと思っています。

A4 退職してから妻と年に5、6回ほど旅行に行っています。ツアーに参加したり友達夫婦と旅行をしたりで今は行かない県の方が少ないくらいになっています。旅行先を選ぶ理由としてサミットを行っているホテルを予約し旅行にいっていました。元気に動けるうちは、妻との旅行を続けていきたいと思っています。

A5 期待は出来ないが人口が増える事ですかね。

A1 小学校は家から4kmぐらいです。当時は遊びながら道草をして通っていたから。途中の道草が楽しくて普通の通学路ではない、山道を通っていた。それが思い出のひとつですね。

A2 いろんな地域に行ったり、いろいろな活動の状況を見てみると長南町って宝庫なんです。自然環境にも恵まれているし、最近本当の意味で長南町の魅力がわかりました。

この歳になって精神的に余裕が出来たんでしょうね。

私は年齢は70歳ですがずっと38歳ぐらいの感覚で気持ちは若いまま、歳をとっていませんから。民生委員の仕事で訪問とかして無駄話をするんですが、自分も楽しいんですよ。話し相手がいるから。今までの経験でお互いが時間があるときに無駄話をするのが一番喜ばれる。何回も同じ事を繰り返す話すがそれが楽しい。

自分にとって勉強になる。ひとつひとつが無駄じゃないと思ってる。

A3 半分健康、半分余暇の活用で農業は続けています。自分がやる事がなくなってしまうと張り合いがなくなってしまう。私にとってそれが一番大切で、何でも体を動かしていないと気が抜けてしまうんです。

今は趣味に生きがいをもって。時間は十分あるのでちよっと熱を入れて写真活動



第29回長南町防災訓練

消防車やパトカーなどの試乗や応急手当訓練、防災VRの体験、コメリ防災対策センターの方から実際に体験した地震時の経験についての講話など大人から子どもが学べる防災訓練を開催しました。例年、頻発する台風などの自然災害に備え、日々の行動や災害時の対応を改めて考える機会となりました。



長南町ふれあい町民ツアー

町民の皆さまとの交流を図り、町民同士の親睦を深めることを目的とした1泊2日のツアーを開催しました。今回は世界遺産や名水百選に指定されている忍野八海や日本一の渓谷美の昇仙峡を巡りました。旅を通して町民の皆さまと山梨の豊かな自然と秋の味覚を満喫しました。



長南町

長南町合併70周年 記念イベント



長南オープンゴルフ大会

郡民大会の予選も兼ねている長南オープンゴルフ大会を開催しました。当日は、天候にも恵まれ、参加者たちは楽しみつつもライバルたちと競い合っていました。



思い出とともに



長南町軽スポーツ大会

軽スポーツを通じて、地域のスポーツ推進及びスポーツの楽しさを知ってもらうために開催しました。当日は老若男女問わず、多くの町民が参加し、各々の出場種目でライバルたちと競い合いつつも楽しく競技を行っていました。参加した町民全員がスポーツの楽しさを感じることのできる大会となりました。



長南フェスティバル2024

町の文化や歴史を広く周知する場であり、地域の皆さまの交流の場になっている、長南フェスティバルと農林業祭を同時に開催しました。毎年恒例の紅白もち投げや出し物などパフォーマンスイベントのほか、長南町の特産品であるレンコンや椎茸の販売なども行いました。町内外から多くの方が来町され、非常に賑わっていました。



長南町大花火大会

江戸時代から200年以上の歴史をもち、三途台長福寿寺の川施餓鬼とともに始まった「長南大花火」は関東名物となっています。長い歴史があり、町の一大イベントである長南町大花火大会を5年ぶりに開催し、轟音を響かせながら夜空に大輪の花を咲かせ、来場者の心を震わせていました。



子ども祭り in 長南

ゴールデンウィークの恒例イベントである子ども祭り。次世代を担う子どもたちが健やかに育つことを願い、地域諸団体と協力して開催しました。子どもが主役の「学び・体験」コーナーが盛りだくさん！その他にも大道芸やマジックショーなどのパフォーマンスもあり、青少年相談員による無償配布も行われました。



長南町歴史絵巻

原始



能満寺裏遺跡から発掘された鉄器

芝原の能満寺裏遺跡からは斧などの弥生時代の鉄器が出土しています。弥生時代は石器から鉄器への移行期でしたが、千葉県全体でも鉄器の出土数は少なく、貴重な考古資料です。この鉄器を使っていた人々は、ムラの周囲を開墾して田畑を広げ、その実りを主な糧として暮らしていたと思われます。田畑に開かれた弥生のムラの風景は、緑豊かな田園が広がる現在の長南町につながる「原点」といえるでしょう。

古代

中世



東光寺の木造薬師如来坐像

市野々の東光寺本尊の薬師如来坐像は一本造りて、町内では最も古と推定される平安時代の仏像です。ただし、最近までこの像は阿弥陀如来像と伝えられ、本尊は別の薬師像でした。しかし、修復時に印相に改変の痕が見つかり、薬師像が阿弥陀像に改造されたと考えられたため、復元されて本尊に「復帰」することとなったのです。なぜ改変されたのかは謎ですが、中世の市野々は鎌倉の鶴岡八幡宮領だった時期があり、八幡神の本地仏が阿弥陀如来とされることから、何か関係があるかもしれません。

長福寿寺と報恩寺の阿弥陀如来坐像は、高度な技を持った仏師によって作られた優品ですが、作風は大きく異なっています。まず気づくのは衣文と呼ばれる衣のシワで、長福寿寺像は整然と浅いシワが並ぶ表現ですが、報恩寺像は実物の衣のように写実的です。また、長福寿寺像はすべてを悟った静穏な表情を浮かべていますが、報恩寺像は想念を発しているかのような能動性を感じられます。こうした違いは作られた時代に関係しています。平安時代後期と推定される長福寿寺像は王朝文化の優美さ、鎌倉時代の報恩寺は武士の時代らしい力強さという、時代の気風が表現されているのです。

木造阿弥陀如来坐像 (左/長福寿寺、右/報恩寺)



黒糸肩裾取威同丸 兜 小具足付 (附 指物2疏 鎖帷子1領)

天正18年(1590年)、豊臣秀吉は北条氏討伐のため関東に攻め寄せ、長南城の武田豊信は北条氏とともに敗れました。長南武田の家臣の多くは武士をやめて帰農・土着したといえます。地引の自井家も帰農した武田家旧臣と伝えられる家系ですが、この家には1組の甲冑が遺されていました。胴は桃山・江戸時代初期の作、奈良系甲冑師と思われる「春田定光」銘がある兜は室町時代後期の作と推定されています。戦国武士家系の「誇り」として代々伝えられてきたこの甲冑は、戦国時代の長南が残した歴史遺産でもあります。

笠森寺観音堂は不安定な岩山の上にわざわざ建てられています。堂の本尊は十一面観音菩薩像ですが、仏の世界では観音菩薩は補陀落という浄土に住むとされ、それはインドのはるか南方の海上にある山と考えられています。そして堂の構造をよく見ると、岩山の頂上の位置に本尊を安置する須弥壇が乗るように設計されていて、岩山を補陀落に見立て、観音菩薩の浄土を再現する意図があった、とも考えられるのです。実際、現在の観音堂は戦国末期・桃山時代という戦乱の時代に長い歳月をかけて建立(再建か)されており、「何としても、この場所に観音堂を建てたい」という当時の人々の強い信仰心が感じられます。

笠森寺観音堂



近世

近代

長南宿絵図



天明2年(1782年)頃の長南宿を視覚的に見ることができ、貴重な史料です。宿を貫く街道は江戸と大多喜・房州を結ぶ房総中往還で(現在の県道長柄大多喜線)、街道沿いに家屋が建ち並ぶ景観は現在も大きく変わりません。絵図に描かれた神社の多くは現存し、街道筋に架かる大橋や馬橋、巡礼橋も名前が残っています。その一方で、土手町由来だった火除土手、幕府のお触れを掲げる高礼場水道町の由来だった水路、大林寺参道の黒門など、すでに消滅したものも見ることができます。

長南町の郷土玩具の長南袖風は明治後期・大正初期に年産5万点、芝原人形は明治中期に年産2万点を数えたと言います。当時のこれらの流通圏が基本的に長生郡内で、明治43年(1910年)の長生郡の戸数が約1万5千だったことを考えれば驚異的なヒット商品であったことがわかります。それは袖風が端午の節句、芝原人形が桃の節句(ひな祭り)という、子どもにとって大事な季節の行事と密接に結びついていたことが大きく関わっています。



芝原人形と彩色用具



長南袖風



長南城主 武田豊信像

長南町の歩み

昭和30年 2月	4町村の合併により「長南町」発足
昭和31年 1月	長南町の面積65.54km ² となる
昭和31年 4月	第1回「成人式」開催
昭和34年 4月	「長栄中学校」開校（長南中・豊栄中）
昭和35年 4月	「東西中学校」開校（東中・西中）
昭和36年 4月	「長南中学校」開校（長栄中・東西中）
昭和37年 7月	町老人クラブ発足
昭和40年 5月	町村合併10周年記念式典
昭和42年 10月	長南759番地に公民館落成、豊会館落成
昭和44年 3月	第1回「町民体育祭」開催
昭和44年 3月	長南農協本所落成
昭和45年 3月	加藤邦男町長逝去
昭和45年 3月	蔵持ダム竣工
昭和45年 6月	町章制定
昭和46年 12月	広域簡易水道事業竣工
昭和46年 12月	町旗制定・町の木「ヒノキ」に決定
昭和46年 4月	町立長南保育所開設
昭和47年 11月	長南小学校・坂本小学校の統合
昭和47年 11月	町民文化祭開催
昭和48年 7月	役場新庁舎落成
昭和48年 3月	郷土資料館落成
昭和49年 4月	長南2480番地に健康管理センター開所
昭和49年 3月	新中央公民館落成
昭和50年 2月	町村合併20周年記念式典
昭和51年 4月	町営ガス点火式

昭和52年 2月	町営ガス事業、建設工事、竣工披露式
昭和53年 7月	町営野球場・テニスコート完成
昭和53年 12月	町営笠森霊園造成工事着工
昭和54年 4月	千葉県いこいの里・笠森保養センター落成
昭和54年 12月	町営笠森霊園完成
昭和55年 3月	町村合併25周年記念式典
昭和56年 5月	長南勤労者体育センター（現長南町体育館）落成
昭和57年 4月	長南幼稚園落成
昭和57年 6月	野見金キャンプ場開設
昭和58年 8月	町営ガス陸沢町へ拡充
昭和58年 9月	長南工業団地造成工事着工
昭和58年 7月	町営陸上競技場・ゲートボール場完成
昭和59年 2月	第1回「長南町町民マラソン大会」開催
昭和60年 2月	町村合併30周年記念式典
昭和60年 3月	町民憲章制定・碑の除幕式
昭和61年 8月	「熊野の清水」環境庁（現環境省）の全国名水百選に認定
昭和62年 5月	B&G財団「長南海洋センター」落成
昭和62年 12月	千葉県東方沖地震（震度5 M6.6）
昭和63年 2月	農村環境改善センター落成
昭和63年 3月	新町営野球場落成
平成2年 2月	福祉カー「ゆうあい号」設置
平成3年 6月	第1回「べに花祭り」（長福寿寺）開催
平成4年 3月	長南工業団地（65.5ha）分譲完了
平成5年 4月	芝原農村公園完成（モデル事業）
平成5年 9月	社会福祉法人長南町社会福祉協議会法人化
平成5年 10月	町の花木「サクラ」、草花「ペニバナ」、鳥「ウグイス」に決定
平成6年 11月	防災行政無線運用開始記念式典
平成6年 11月	老人いこいの家開設
平成6年 11月	第1回「長南フェスティバル」開催



昭和60年 町民憲章制定



昭和54年 復活した長南町青年団の結団式



昭和50年頃 茅葺き屋根が並ぶ昭和50年頃の風景



昭和41年 明治神宮で行われていた頃の成人式



昭和36年 開校を控え落成直前の長南中学校校舎



昭和30年 4町村合併により「長南町」発足（昭和30年代の町役場庁舎）



昭和62年 建設中の町営野球場



昭和62年 千葉県東方沖地震災害復旧工事



昭和60年 「熊野の清水」環境庁の全国名水百選に認定（現環境省）



昭和49年 中央公民館落成後初めての町民文化祭



昭和46年 廃校間近の坂本小学校校舎



昭和44年 第3回「町民体育祭」開催

令和7年 2月	町村合併70周年記念式典
平成7年 2月	町村合併40周年記念式典
平成8年 5月	福祉タクシー事業開始
平成10年 5月	第1回「観蓮会」開催
平成14年 10月	長南聖苑オープン
平成16年 3月	長南町シルバー人材センター設置
平成17年 2月	巡回バス運行開始
平成18年 3月	野見金公園 桜・梅植栽祭開催
平成19年 3月	熊野の清水公園着手
平成20年 11月	町村合併50周年記念式典
平成21年 3月	山内ダム竣工
平成22年 4月	長南中学校体育館落成
平成23年 9月	ちば文化的景観にハス田(坂本)、笠森寺と自然林(笠森)が選ばれる
平成24年 4月	地上デジタル放送長南中継局開局
平成25年 1月	ドクターヘリのヘリポート竣工
平成26年 3月	山内ダム 竣工式
平成27年 2月	長南町更生保護女性会設立
平成28年 4月	過疎地域に指定される
平成29年 3月	野見金公園の「あじさい園」完成
平成30年 4月	圏央道笠森トンネル貫通
平成31年 4月	予約制乗合(デマンド)タクシー運行開始
令和元年 8月	長南町のマスコットキャラクターデザイン発表
令和2年 4月	長南町マスコットキャラクター愛称「ちよな丸」に決定
令和3年 4月	圏央道・茂原長南インターチェンジ供用開始
令和4年 1月	台風26号災害
令和5年 1月	長南保育所新遊戯室落成
令和6年 3月	町村合併60周年記念式典
令和7年 2月	長南町子育て交流館オープン
令和8年 5月	高校生等医療費助成制度新設
令和9年 5月	東京家政大学と連携協力に関する包括協定締結
令和10年 5月	新長南小学校 校舎完成
令和11年 5月	放課後児童クラブ新設
令和12年 5月	旧西小学校に仲間と泊まる学校
令和13年 5月	ちよな丸西小オープン
令和14年 5月	笠森寺観音堂「次世代に残したいと思う『ちば文化資産』に選定
令和15年 5月	旧長南小学校に長南集学校オープン
令和16年 5月	ちよな丸ポイント事業 開始
令和17年 5月	2000年記念長南町大花火大会開催
令和18年 5月	台風15号による大規模停電発生
令和19年 5月	大型台風19号襲来、初の避難勧告発令
令和20年 5月	台風21号による10月25日の大雨災害
令和21年 5月	「森の墓苑」県内初環境教育促進法に基づく「体験の機会」の場」認定
令和22年 5月	長生グリーンライン一部区間開通
令和23年 5月	長南小・中学校給食費無償化
令和24年 5月	旧長南幼稚園に竹の駅ちよな丸オープン
令和25年 5月	のみがね峻道完成
令和26年 5月	役場新庁舎建設工事着手
令和27年 5月	旧豊栄小学校に専門学校マーキュリー情報コミュニケーションカレッジ開校
令和28年 5月	旧長南小学校スケボーパーク工事着手
令和29年 5月	役場新庁舎完成
令和30年 5月	役場新庁舎開庁・業務開始
令和31年 5月	旧長南小学校にスケートパーク長南オープン
令和32年 5月	台風13号による大雨災害
令和33年 5月	長生グリーンライン茂原市区間まで開通
令和34年 5月	町村合併70周年記念式典



令和元年 台風21号による大雨災害



平成29年 「長南小学校」開校式・入学式



平成27年 長南町合併60周年記念式典



平成12年 長南フェスティバル2000



平成11年 「観蓮会」開催



平成7年 長南町合併40周年記念式典



令和6年 長生グリーンライン 茂原市区間まで開通



令和5年 スケートパーク長南オープン



令和5年 役場新庁舎完成



平成17年 長南町合併50周年記念 風揚げ大会



平成16年 野見金公園 桜・梅植栽祭



平成13年 建設中の山内ダム

長南集学校 (旧長南小学校)



長南集学校、地域の皆様と共に未来へ

2019年春に開校した長南集学校は、1Tに関する相談窓口としてだけでなくプログラミング教室や地域イベントなど、多様な活動を通じて、長南町の皆様と交流を深めてきました。特に、空き教室を活用した「職人室」は、たくさんの方々が集まり、地域の方々に多くご利用いただき、年間1万人以上の方々が集まる活気あふれる場所に成長しました。長南町の皆様のご支援に心より感謝いたします。今後とも、ICT技術の進歩に合わせて、より一層、地域に根ざした活動を行い、誰もが安心して1Tを活用できる環境づくりに貢献してまいります。

一般社団法人おかしり集学校千葉支店
長南集学校校長 鈴木 陽子

ちょうなん西小 (旧西小学校)



地域の皆様と共に未来を築いていきたい

ちょうなん西小は皆様の支えもあり、都市部の方々にとって大切な思い出作りができる場所に成長しました。長南町の豊かな自然と温かい人々の魅力を感じ、学生やスポーツ団体、企業団体などがスポーツや学び、交流を楽しんでいます。そして長南町の魅力を知った多くの方が、ピラーとして再訪しています。多くの方にとって旧西小学校が母校となり、多くの皆様と共に思い出が詰まった校舎を守っていかけていくことを嬉しく思います。私たちは地域の皆様との繋がりを大切に、未来を担う子供たちや地域の希望となる社会活動に力を入れ、共に笑顔あふれる未来を築いていきたいと願っています。皆様のご支援に感謝しながら、地域と共に成長し、未来への希望を育む活動に全力で取り組んでまいります。

株式会社マイナビ
地方創生推進事業部
地方創生推進部
部長 竹嶋 智之

越後屋 長南東小学校スタジオ (旧東小学校)



スクールスタジオとしての機能強化元年

平成29年、当社は旧東小学校で「越後屋 長南東小学校スタジオ」の運営をスタートしました。これまで、様々なメディア撮影に利用されてきました。また、「越後屋 ドローンスクール 千葉長南校」は、国家ライセンス取得指定機関となり、多くの方にドローン国家ライセンス取得講習を実施しています。令和7年は長南町の合併70周年にあたり、当社にとっても進出から8年を迎える節目の年となります。スクールスタジオとしての機能を強化し、より多くの撮影関係者を長南町に呼び込むことで経済効果とPR効果の向上を目指します。これらの取り組みを通じて、長南町の魅力を広く発信し、交流人口の増加や雇用の創出につなげることで、長南町の持続的な発展に少しでも貢献することができたと考えています。

株式会社フラフレイ
代表取締役 風間 哲也

専門学校マーキュリー 情報コミュニケーションカレッジ (旧豊栄小学校)



国際交流と地域貢献で紡ぐ未来

長南町合併70周年に際して、心よりお慶び申し上げます。当校、専門学校マーキュリー情報コミュニケーションカレッジは、廃校活用プロジェクトの一環として2022年に開校致しました。長南町のまちづくりの基本理念に賛同し、この地域の発展・進化と共に歩むことを目指しています。当校は、未来創造1T学科、未来観光ビジネス学科、文化芸術学科に、日本人学生とアジア圏を中心とした留学生約100名が在籍。国際・異文化交流と多様性を大切にしながら、「感動を与え社会貢献できる人材」の育成に取り組んでいます。経験あふれたで豊かな大地を擁し、世代を超えた強い絆で今もなお結ばれている長南町で、皆様に「一緒にさせて頂き、未来を紡いでいきたい」と思います。これから、も「高配よろしく」お願い致します。

専門学校マーキュリー
情報コミュニケーションカレッジ
長谷川 宏司

竹の駅ちょうなん (旧長南幼稚園)



2025年、地球未来にチャレンジ！

弊社は長南町の竹を利用し、竹粉配合バイオプラスチック商品を製造しています。昨年の展示会「よい仕事おしフェア」東京ビックサイト、「川崎国際環境技術展カルピックかわさき」、「テクノカルシウコハマ」パシフィコ横浜にて長南町の竹を使った製品を展開しました。高い抗菌性、食品衛生法適合、焼却時のCO2削減、有毒ガス抑制、循環型素材配合樹脂製品の製造など、環境保護とSDGsに向けた製品開発を行っており、旧長南幼稚園にて商品の販売も行っておりますので、是非ご覧になってください。これからも皆様と共に、より良い活動を進めていくことを心より楽しみにしております。

株式会社ニオン産業
代表取締役 森川 眞彦

新庁舎ができるまで



新庁舎建設工事の様子は
YouTubeで配信しています。
ぜひご覧ください。





CHONAN TOWN
重点施策
産業・雇用
地域活性化

活力と賑わいにあふれたまち



観光の振興

毎年8月に花火大会を開催しており、多くの観衆が山間に響き渡る雄大な花火を觀賞しています。

また、圏央道の開通効果もあり、多くのゴルフ場が町内のゴルフ場を訪れています。多くの方に長南町を知ってもらうため「ゴルフ場キャンペーン」を実施し、町特産品のPR活動を行っています。

農林業の振興

古くから町では、おいしいお米作りに適した粘性土壌と清らかな水に恵まれたほ場を利用し、稲作中心の農業が営まれてきました。

不耕作水田の拡大防止のため、地域ぐるみでの農地や水を守る活動、地域の核となる営農組織、担い手を支援しています。

商工業の振興

長南工業団地には、さまざまな業種の企業が立地し、就業の場の確保が行われています。

また、商工会を通じて経営改善指導などを行い、健全で活気のある商店街づくりを目指しています。

移住・定住、関係人口の増進

町内に住宅を取得した45歳以下の対象者に住宅取得奨励金を交付する「若者定住及び三世代同居促進奨励金事業」及び「UIJターによる起業・就業者等創出事業移住支援金事業」により移住・定住の推進に取り組んでいます。

また、町内に増加傾向にある空き家対策として、引き続き空き家情報バンク制度及び空き家バンク登録促進事業補助金制度を活用した空き家の有効利用を図り、移住定住につながるよう努めています。



CHONAN TOWN
重点施策
基盤整備

社会基盤の充実したまち

持続可能な土地利用とインフラの整備

圏央道の整備効果を波及させる長生グリーンラインや国道道へのアクセスを強化するとともに、防災や通学など安全で安心できるまちづくりに必要な生活道路の整備を促進していきます。

また、正確な地籍情報を次世代へ伝えるため、地籍調査事業を推進していきます。

住環境の整備

安心・安全な住宅を維持するため、木造住宅に係る耐震診断や耐震改修への補助事業や、住宅のリフォームに係る補助事業を通じて、生活環境の向上を図り、定住促進や町内産業の活性化といった副次的な効果を見込みながら支援に取り組めます。また、適正に管理されていない空き家等については、空き家等対策計画に基づき対応をしていきます。

本町の町営住宅については老朽化が著しいため、段階的に取り壊しを行っています。

公共交通網の利便性向上

町民の移動手段は自家用車が主となっておりますが、高速バス、路線バス、乗合タクシー、タクシーの公共交通手段により、自動車の運転免許を所有していない学生、高齢者、障がい者等の交通弱者に対しても移動手段を確保している状況です。

近年路線バスの利用者は減少傾向にあり、路線の廃止や減便が続く中、乗合タクシーは町内全域を自由乗降区域としたドアtoドア方式を導入したことで、路線バスの乗り継ぎや買い物、通院等の交通手段として多くの方が利用しております。

情報通信基盤の整備

Society 5.0の時代に向けて、高速データ通信網の基盤整備など、利用環境の充実を図るとともに、この通信インフラを活かして住民サービスの向上を図るため、IoT、ビッグデータやAIなど、情報通信技術の発展への対応を視野に入れ、幅広い分野での可能性を模索していきます。

同時に、通信技術改革は非常時にも有用であるため、災害時や新型コロナウイルス感染症等への対応も想定しながら、本町の課題解決に寄与できるよう取り組みます。



CHONAN TOWN
重点施策

保健・福祉

だれもが健康で元気に暮らせるまち

**医療体制の充実と
社会保障制度の健全化**

医療資源の確保や医療ニーズに応じた医療提供を行うため、長生保健所や茂原市長生郡医師会と連携し、地域医療連携の強化を推進します。

また、高齢者の保険事業と介護予防の一体的実施に取り組むことで、きめ細かな支援に努めます。さらに、安心して生活できる基盤を提供するため、生活支援サービスや介護サービスの充実を図ります。

町民が安心して生活できる社会を実現するためには、持続可能な社会保障制度を維持し、効率的な財政運営を行う必要があります。将来世代に負担を残さないよう事業を推進していきます。

健康づくりの推進

成人に対して健康診査等の普及を進めることにより、生活習慣病の早期発見・早期治療を促進し、医療費の抑制や健康課題の把握に努めます。

また、健康教室や啓発活動を行い、次世代を担う子どもたちが健康意識を持てるような環境づくりに努めてまいります。

高齢者福祉・ 障がい者福祉の推進

いつまでも住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう、高齢者福祉については、高齢者自らの健康増進や生きがいづくりに繋がる活動を支援し、介護予防や生活支援のサービス基盤活動を促進するため、関係機関とのネットワークの構築を図ります。障がい者福祉については、障害の状況やニーズに応じた適切な保健、医療、福祉サービスや相談体制など支援の充実に努めています。

地域福祉の推進

地域共生社会の実現を目指し、社会福祉協議会をはじめ、民生委員・児童委員、ボランティア団体など各種団体との連携を強化するとともに、子ども、高齢者、障がい者などすべての人が地域の支え合いのなかで健やかに安心して住み続けられるよう、地域住民の意識向上など地域で支える地域づくりを推進します。



CHONAN TOWN
重点施策

生活環境

自然と調和した暮らしやすいまち

自然環境の保全

本町において受け継がれてきた自然環境と調和した暮らしは、都会では得られない本町の良さであり、美しい緑と水を後世に残すため、行政はもとより、一人ひとりが意識をもって取り組んで行かなければなりません。そのため、自然環境の保全や不法投棄の防止等、行政が主導的な立場となり事業者、住民への意識啓発をはじめとした活動に取り組めます。

上下水道・ガス施設の 維持管理

昭和51年4月から町営ガスを各家庭に供給し、現在普及率は78%になっています。各家庭への安定供給と保安確保を高めるため、更新工事及びガス供給施設の整備を図り、「安心・安全でより快適な生活」に貢献してまいります。



循環型社会の推進

衛生的で健康的な暮らしに寄与するため、ごみ・し尿の処理について、長生郡市広域市町村圏組合との連携のもと、環境衛生事業を推進しています。

また、環境の保全や公害の防止に向けた取り組みを推進するほか、食品ロス削減活動の推進など、暮らしの中で取り組むことのできるエコ対策の啓発等に努めます。

地球温暖化対策への取り組みとしては、自然エネルギーを活用した循環型社会の推進を図ります。



子育て支援の推進

町では、地域での子育て支援、親子の健康の保持及び増進、子どもの心身の健やかな成長に即した教育環境の整備、子育てを支援するための生活環境の整備、職業生活と家庭生活との両立の推進、子どもの安全確保、要保護児童等への対応などきめ細やかな取り組みの推進を子育て支援の基本目標におき、支援の充実に努めています。



CHONAN TOWN
重点施策

安心安全に暮らせる 町民との協働によるまち

行政・協働

住民協働の推進

行政と地域等の間で問題意識や課題を共有し、解決を図るため、積極的な行政情報の発信や、意見交換の機会を設け、大規模事業や地域への影響が大きい施策・事業を展開していく場合には、地域との対話と協調を常に念頭に置きながら実施しています。

また、住民との協働事業については、NPO法人等とのタイアップも視野に入れながら進めています。

今後は更に、既存の事務事業についても民間活力を導入するなど、自律的・持続的な行政運営を行っていきます。

一方、財政の健全性を確保するため、地方債発行の際には、過疎対策事業債をはじめ、交付税算入率の高い事業債を優先的に活用しています。また、公共施設等の更新や大規模改修に備え、「公共施設等整備基金」を設置し、財源の確保に努めています。引き続き効率的で持続可能な財政運営を行っていきます。

行財政の健全運営

社会情勢の変化に対応し、最適な行政サービスを提供するためには、職員の資質向上や事務の効率化に取り組む必要があります。このため、「定員適正化計画」に基づき、職員数の適正化を図るとともに、「DX推進計画」の策定に取り組むなど、より効率的・効果的な組織体制づくりに取り組んでいます。



CHONAN TOWN
重点施策

豊かな心を育み生きる力を学べるまち

学校教育 生涯学習

学校教育の充実

情報化、国際化の時代に生きる今の子どもに必要な「生きる力」を育む教育に取り組んでいます。それに必要な基礎学力の確実な定着を重点課題とし、意欲あふれる、わかる授業実践を日々積み重ねています。

また、グローバル化社会にあたって、中学生のオーストラリアでのホームステイ、話せる英語を目的にした小学生の英語学習、ICTの教育、長南が大好きな子どもを育てる「郷育」学習など、国際教育を積極的に進めています。

さらに、コミュニティ・スクールの組織化により、地域とともにある個性豊かな教育や、特色ある学校づくりを進めています。

歴史・文化の継承と振興

豊かな自然に恵まれた長南町は古くから人々の活動の場であり、笠森寺観音堂、能満寺古墳など、多くの文化財が遺されています。本町ではこのような歴史遺産・伝統文化の保護に努めるとともに、生涯学習や観光など、さまざまな分野での活用を図り、また、学校教育と連携した郷土学習の実施など、郷土の歴史・文化への理解をより深めてもらうことに取り組んでいます。

生涯学習の推進

生涯学習は地域住民の社会参加や地域交流の活性化を促進するため、とても重要な活動です。本町ではそうした点を踏まえて、一般成人だけでなく高齢者や親子参加型など、幅広い年代が「生きがいと楽しさ」を求めて共に学び」をテーマに各種教室や講座の開催や、日常の生涯学習活動の発表の場としての文化祭を開催しています。

また、次世代を担う子どもたちの健やかな成長を願って、児童を対象とした「わくわく体験クラブ」による、学校授業とは異なるメニューの体験学習機会を提供しています。「スポーツレクリエーション大会」などを開催する長南町青少年相談員活動への支援や「核家族時代」であるからこそ重要性が高まっている家庭教育講座の実施など、さまざまな取り組みを実践しています。



防災・防犯・交通安全の推進

本町は丘陵部が多いため、土砂崩れなどの自然災害の防止に取り組むとともに、自助・共助・公助により町と住民が総力を結集し、平常時から自主防災組織の活動補助をはじめ、災害に対する備えを強化しています。また、毎年、住民が参加する防災訓練や出前講座により、防災に対する意識の高揚に努めています。

交通安全・防犯では、長南町交通安全協会・長南町防犯組合との連携を図り、青色パトロール車による町内巡回や地域住民による見守り活動を行うなど、地域住民との協働による活動で、安全安心なまちづくりを支えています。

男女共同参画の推進

令和3年3月に策定した「長南町男女共同参画計画」（令和3年度、令和7年度）に基づき、4つの基本目標「I男女共同参画社会の実現に向けた基礎づくり」、「IIあらゆる分野での男女共同参画の実現」、「III健康で安心安全な社会づくり」、「IV誰もが輝く環境づくり」に基づき、男女共同参画の意識づくり、ワークライフバランスの推進、あらゆる暴力の根絶と人権の尊重及び女性活躍の推進を図っています。

統計資料で見る

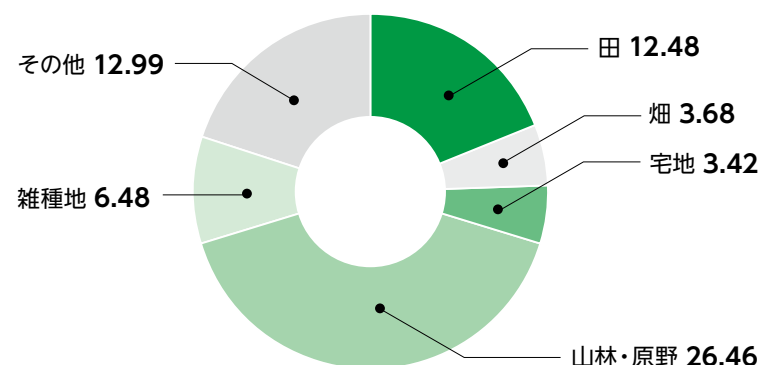
長南町

Data of Chonan

位置・面積

LOCATION / AREA

地目別土地面積 (単位: km²)



令和5年10月1日現在



平均気温

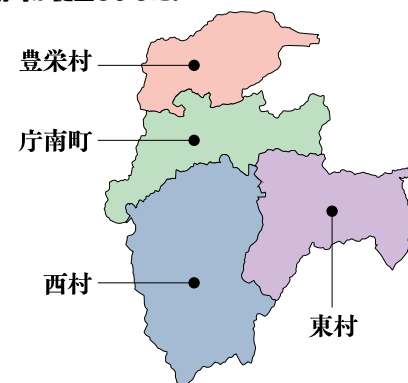
16.3℃



平均降水量

126.3mm

昭和30年2月、
庁南町・豊栄村・東村・西村の1町3村が合併し、
長南町が誕生しました。



■位置・面積

東経	140度14分12秒
北緯	35度23分9秒
面積	65.51km ²
海拔 (最高)	180m



町意思決定機関

町民の立場で慎重審議

議会は、町民から直接選ばれた議員によって構成される合議体であり、地方自治にとって不可欠な機関であります。

長南町議会では、定数10名の議員により構成され、毎年2月、6月、9月、12月の定例会と必要に応じて臨時会が開かれます。町議会では、町政の運営方針や条例の制定・改廃、予算・決算など町政全般における重要案件を町民の立場で審議しております。

また、議案などの調査・審査をより詳細に、かつ専門的に行う必要性から常任委員会を設置しています。

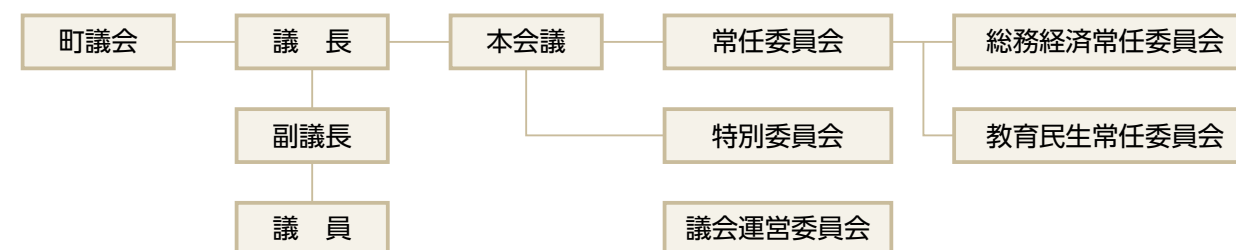
さらに議会を円滑・効率的に運営するために議会運営委員会を、特定の事件について調査・審査するために特別委員会をそれぞれ設置しています。



議長
松野 唱平

副議長
河野 康二郎

議会組織図



行政

Administration



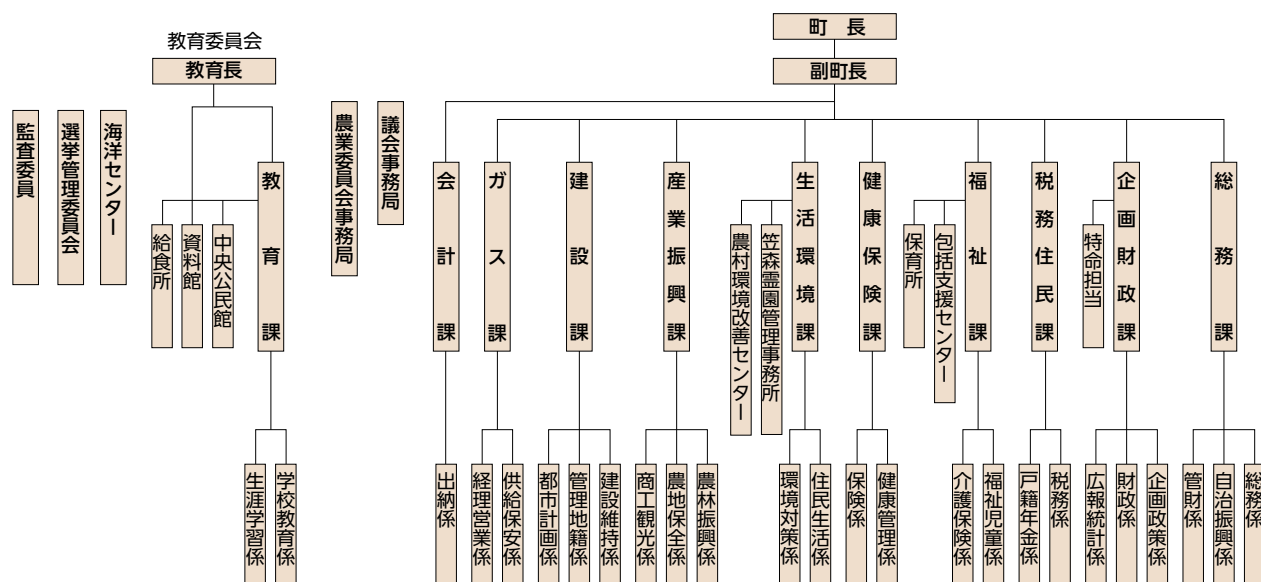
■歴代町長

歴代	氏名	就任
初代	加藤 邦男	昭和30年3月25日
2代	加藤 邦男	昭和34年3月25日
3代	加藤 邦男	昭和38年4月30日
4代	加藤 邦男	昭和42年4月30日
5代	今井 衛	昭和45年2月1日
6代	今井 衛	昭和49年2月1日
7代	今井 衛	昭和53年2月1日
8代	今井 衛	昭和57年2月1日
9代	唐鎌 士郎	昭和61年2月1日
10代	唐鎌 士郎	平成2年2月1日
11代	仁茂田 弘	平成6年2月1日
12代	藤見 昌弘	平成10年2月1日
13代	藤見 昌弘	平成14年2月1日
14代	藤見 昌弘	平成18年2月1日
15代	藤見 昌弘	平成22年2月1日
16代	平野 貞夫	平成26年2月1日
17代	平野 貞夫	平成30年2月1日
18代	平野 貞夫	令和4年2月1日

■歴代議長

歴代	氏名	就任
初代	永嶋 珍重郎	昭和30年2月11日
2代	田邊 與一郎	昭和30年5月10日
3代	唐鎌 純司	昭和34年5月11日
4代	渡邊 茂	昭和36年6月10日
5代	鶴岡 孝之	昭和38年5月10日
6代	山中 昇	昭和40年4月30日
7代	池田 長三郎	昭和42年5月11日
8代	池田 長三郎	昭和46年5月6日
9代	池田 長三郎	昭和50年5月8日
10代	鈴木 一照	昭和54年5月8日
11代	今井 三郎	昭和58年5月9日
12代	安田 尚	昭和62年5月12日
13代	古市 儀勝	平成3年5月9日
14代	古市 儀勝	平成7年5月12日
15代	古市 叔司	平成9年5月9日
16代	岩崎 重良	平成11年5月10日
17代	相 忠男	平成15年5月8日
18代	葛岡 郁男	平成19年5月8日
19代	松崎 剛忠	平成22年4月5日
20代	松崎 勲	平成23年5月10日
21代	板倉 正勝	平成27年5月7日
22代	松野 唱平	令和元年5月10日
23代	松野 唱平	令和5年5月8日

■機構図

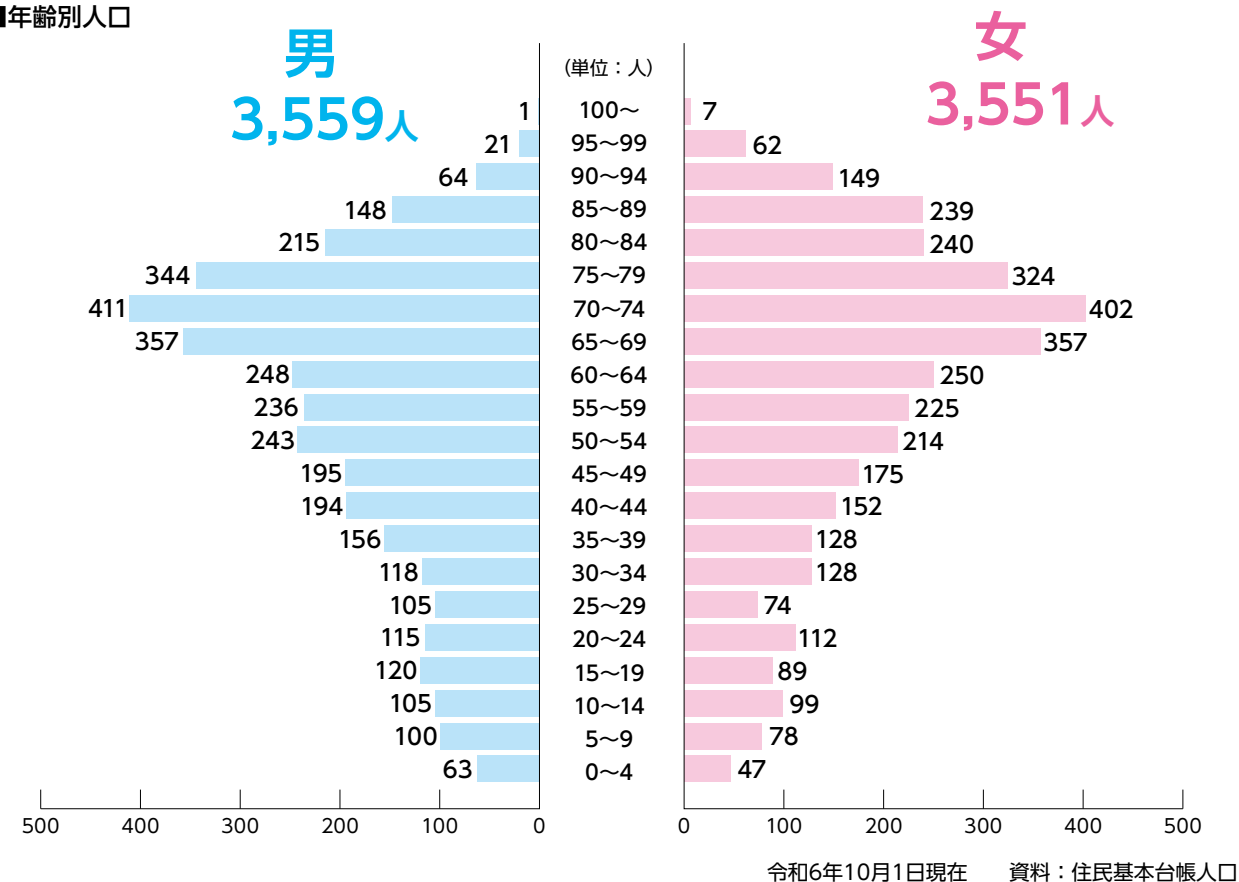


人口

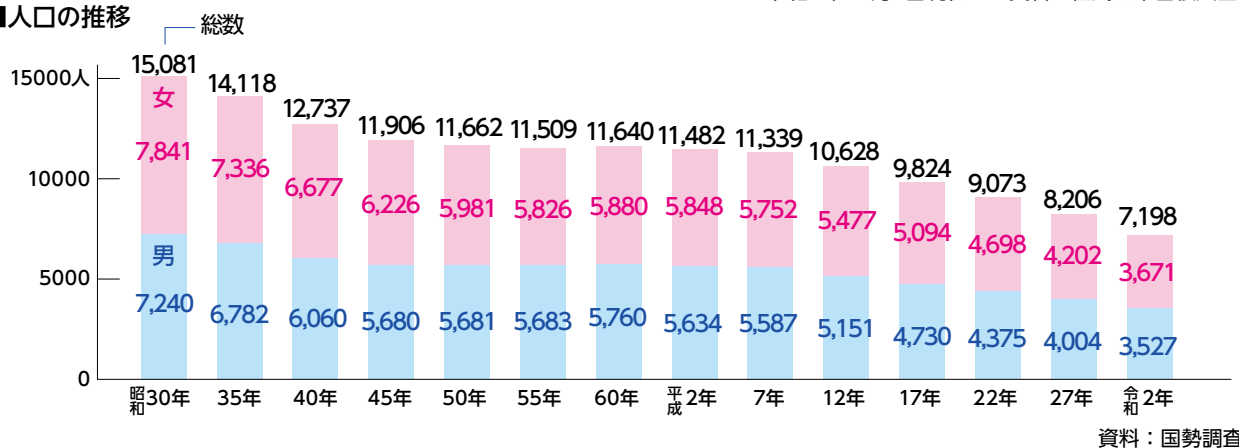
Population



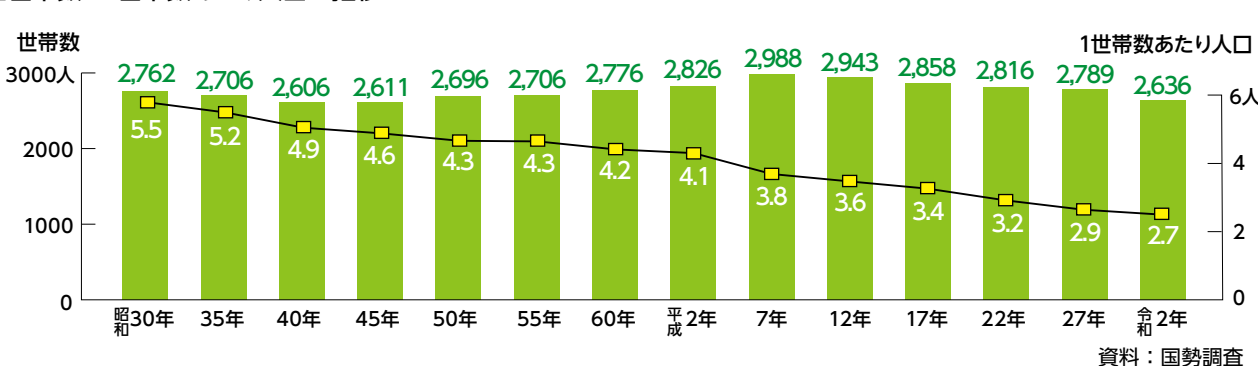
■年齢別人口



■人口の推移



■世帯数と1世帯あたり人口の推移



産業

Industry



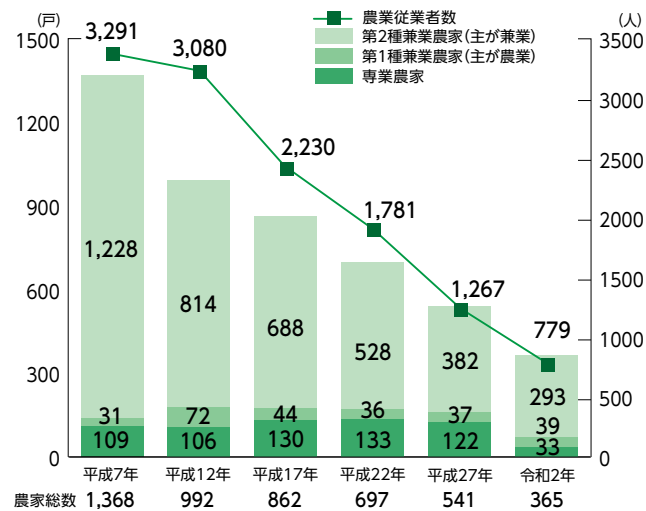
産業別就業者数(15歳以上)

(単位:人)

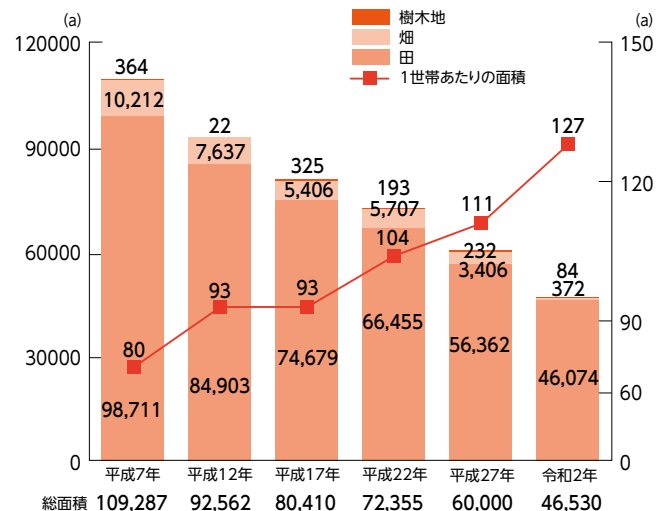
区分 年	第1次産業			第2次産業			第3次産業							分類不能
	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建設業	製造業	電気・ガス 水道業	運輸・通信業	卸売・小売業 飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	公 務	
平成7年	581	3	1	7	720	1,509	60	338	735	99	24	1,284	281	5
	585			2,236			2,821							
平成12年	511	4	-	6	509	1,221	83	311	790	100	19	1,214	259	8
	515			1,736			2,776							
平成17年	567	2	-	5	438	898	53	279	701	65	15	1,317	245	129
	569			1,341			2,675							
平成22年	369	5	-	6	366	736	50	287	649	70	27	1,235	215	76
	374			1,108			2,533							
平成27年	378	4	-	6	372	653	29	255	608	65	32	1,215	189	30
	382			1,031			2,393							
令和2年	240	6	-	10	341	549	29	218	542	47	39	1,099	152	10
	246			900			2,126							

資料: 国勢調査

農業従事者数および専・兼業別農家数の推移



経営耕地種類別面積



資料: 農林業センサス・千葉県農業基本調査

工業の推移

年	区分	事業所数	従業者数(人)	製造品出荷額等(万円)
平成30年		26	1,469	4,176,281
令和元年		25	1,533	3,862,316
令和2年		24	1,487	3,586,691
令和3年		27	1,465	3,359,505

資料: 工業統計調査、経済センサス

商業の推移

年	区分	事業所数	従業者数(人)	年間商品販売額(万円)
平成24年		63	219	282,500
平成26年		61	253	270,900
平成28年		55	238	617,200
令和3年		52	244	266,600

資料: 商業統計調査、経済センサス

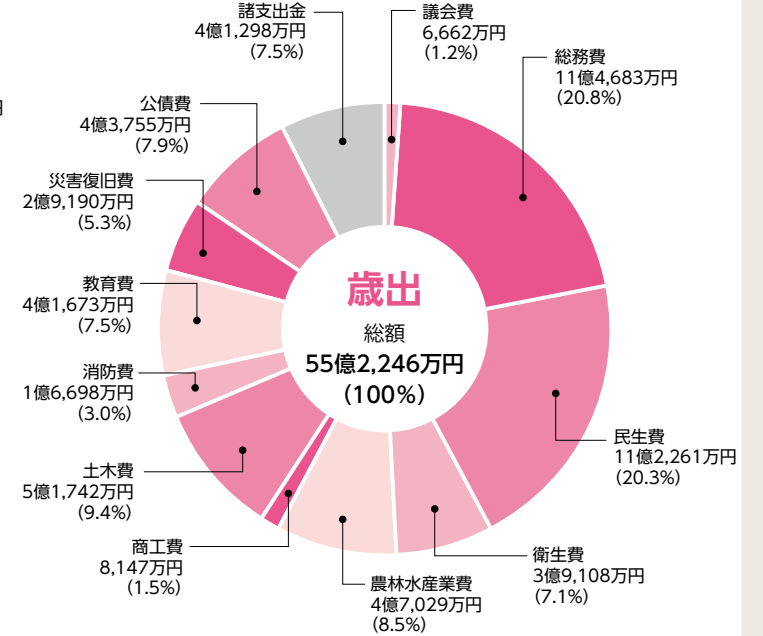
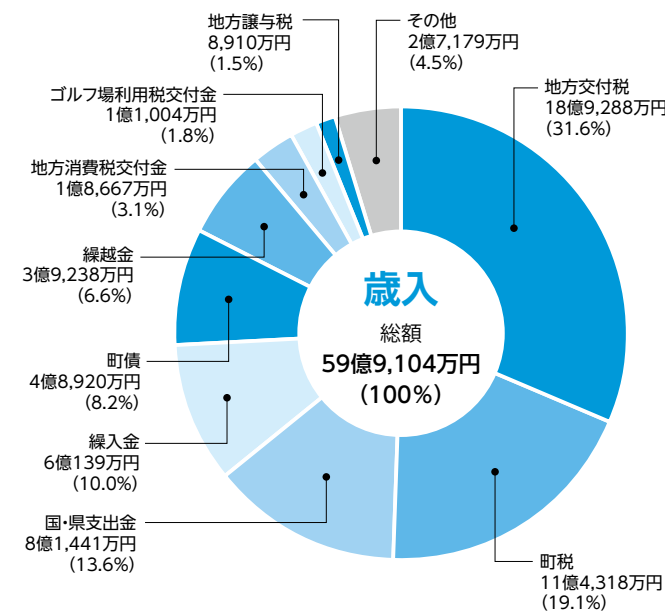
財政

Finance



令和5年度決算

一般会計



特別会計など

(単位: 万円)

会計名	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	笠森霊園事業	農業集落排水事業	ガス事業	
						収益的	資本的
収入額	11億269	1億3,610	11億2,814	7,889	2億2,716	6億3,158	83
支出額	10億6,368	1億3,421	10億9,299	6,496	2億577	6億2,270	1億4,036

一般会計・特別会計歳出決算額の推移

(単位: 千円)

区分 年度	総額	一般会計(財政力指数)	特別会計					
			国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	笠森霊園事業	農業集落排水事業	ガス事業
令和元年度	7,825,572	4,707,048 (0.45)	1,076,918	116,992	1,015,398	68,761	215,683	624,772
令和2年度	9,217,754	6,003,337 (0.44)	1,056,604	125,481	1,087,667	76,169	221,338	647,158
令和3年度	8,936,583	5,709,066 (0.42)	1,092,102	129,066	1,056,640	73,359	217,381	658,969
令和4年度	9,464,652	6,220,995 (0.41)	1,109,447	132,591	1,042,909	70,635	237,865	650,210
令和5年度	8,706,769	5,522,462 (0.41)	1,063,675	134,213	1,092,989	64,962	205,773	622,695

町税収入の推移

(単位: 千円)

年度	区分	調定額	収入済額	収入未済額	収入割合(%)	人口(人)	一人当たりの負担額
令和元年度		1,131,094	1,087,272	42,579	96.13	7,863	144
令和2年度		1,123,276	1,071,403	49,371	95.38	7,743	145
令和3年度		1,149,378	1,099,065	43,797	95.62	7,594	151
令和4年度		1,203,244	1,151,164	48,582	95.67	7,433	162
令和5年度		1,203,492	1,143,177	52,269	94.99	7,243	166

※1人あたりの負担金額=調定額÷人口(人口: 各年度1月1日現在)

資料: 企画財政課

保 険

Insurance



■国民健康保険の加入状況

区分 年度	世帯数			人口		
	総数(人)	加入世帯数(戸)	加入率(%)	総数(人)	被保険者数(人)	加入率(%)
令和元年度	3,226	1,390	43.1	7,818	2,188	28.0
令和2年度	3,255	1,399	43.0	7,719	2,166	28.1
令和3年度	3,235	1,364	42.2	7,557	2,085	27.6
令和4年度	3,193	1,322	41.4	7,353	2,013	27.4
令和5年度	3,192	1,275	39.9	7,191	1,919	26.7

■国民健康保険の給付状況

(単位：円)

年度	区分	総 額	療養給付	療養費	審査支払手数料	高額療養費	出産育児一時金	葬祭給付	件数(件)
令和元年度		744,257,740	642,748,340	4,724,830	1,890,092	93,254,478	840,000	800,000	44,883
令和2年度		734,703,544	634,142,871	4,357,571	1,737,870	93,125,232	840,000	500,000	42,650
令和3年度		773,955,469	673,311,977	4,742,321	1,822,470	92,388,701	840,000	850,000	44,612
令和4年度		788,920,879	681,815,233	5,257,090	1,797,578	97,740,978	1,260,000	1,050,000	44,332
令和5年度		755,713,861	653,814,682	4,801,134	1,790,010	94,008,035	500,000	800,000	44,098

■後期高齢者医療の給付状況

(単位：円)

年度	区分	総 額	療養給付	療養費	件数(件)
令和元年度		1,431,952,041	1,425,385,087	6,566,954	54,107
令和2年度		1,461,515,049	1,455,241,921	6,273,128	51,357
令和3年度		1,575,373,158	1,570,008,648	5,364,510	51,041
令和4年度		1,601,646,646	1,596,045,884	5,600,762	52,744
令和5年度		1,625,033,101	1,619,585,929	5,447,172	53,994

資料：健康保険課 (各年度3月31日現在)

■介護保険被保険者数・要介護（要支援）認定者数の推移

(単位：人)

区分 年度	第1号 被保険者数	要介護（要支援）認定者数							
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
令和元年度	3,339	37	64	129	112	93	79	64	578
令和2年度	3,344	45	63	118	100	109	99	58	592
令和3年度	3,362	35	54	127	93	111	90	62	572
令和4年度	3,331	40	51	114	94	107	86	60	552
令和5年度	3,320	45	56	111	107	104	88	52	563

■介護保険給付費支払状況

(単位：円)

年度	区分	合 計	居宅サービス費	施設サービス費	その他
令和元年度		931,426,337	425,205,021	429,978,596	76,242,720
令和2年度		1,010,415,696	431,049,253	489,291,771	90,074,672
令和3年度		961,465,255	421,415,396	461,211,631	78,838,228
令和4年度		899,556,513	413,083,645	425,836,552	60,636,316
令和5年度		926,044,861	453,824,480	420,518,979	51,701,402

資料：福祉課 (各年度3月31日現在)

健 康

Health



■健康診査等の実施状況

(単位：人)

区分 年度	胃がん検診			胸部検診			大腸がん検診		
	対象者数	受診者数	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)
令和元年度	5,887	575	9.77	5,887	952	16.17	5,887	1,065	18.09
令和2年度	5,836	未実施	-	5,836	655	11.22	5,836	916	15.70
令和3年度	5,780	423	7.32	5,780	714	12.35	5,780	952	16.47
令和4年度	5,709	467	8.18	5,709	745	13.05	5,709	903	15.82
令和5年度	5,615	420	7.48	5,615	733	13.05	5,615	878	15.64

(単位：人)

区分 年度	乳がん検診			子宮がん検診			前立腺がん検診		
	対象者数	受診者数	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)
令和元年度	3,346	800	23.91	3,614	605	16.74	2,405	526	21.87
令和2年度	3,302	未実施	-	3,534	未実施	-	2,390	407	17.03
令和3年度	3,281	737	22.46	3,506	518	14.77	2,371	450	18.98
令和4年度	3,218	713	22.16	3,433	526	15.32	2,343	476	20.32
令和5年度	3,146	688	21.87	3,344	507	15.16	2,329	412	17.69

(単位：人)

区分 年度	特定健康診査			後期高齢者健康診査			青年の健康診査		
	対象者数	受診者数	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)	希望者	受診者数	受診率(%)
令和元年度	1,732	869	50.17	1,596	650	40.73	162	46	28.40
令和2年度	1,752	698	39.84	1,560	583	37.37	131	24	18.32
令和3年度	1,724	723	41.94	1,526	580	38.01	107	43	40.19
令和4年度	1,640	717	43.72	1,566	627	40.04	117	32	27.35
令和5年度	1,586	729	45.96	1,554	637	40.99	201	30	14.93

(単位：人)

区分 年度	高齢者インフルエンザ予防接種			1歳6か月児健康診査			3歳児健康診査		
	対象者数	接種者数	接種率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)	対象者数	受診者数	受診率(%)
令和元年度	3,385	2,298	67.89	40	38	95.00	31	26	83.87
令和2年度	3,364	2,493	74.11	27	25	92.59	45	45	100.00
令和3年度	3,347	2,390	71.41	22	22	100.00	38	35	92.11
令和4年度	3,404	2,399	70.48	38	37	97.37	26	26	100.00
令和5年度	3,411	2,380	69.77	17	15	88.24	29	27	93.10

資料：健康保険課 (各年度3月31日現在)

生活

Life



■道路の延長と舗装状況



9,397m 100%



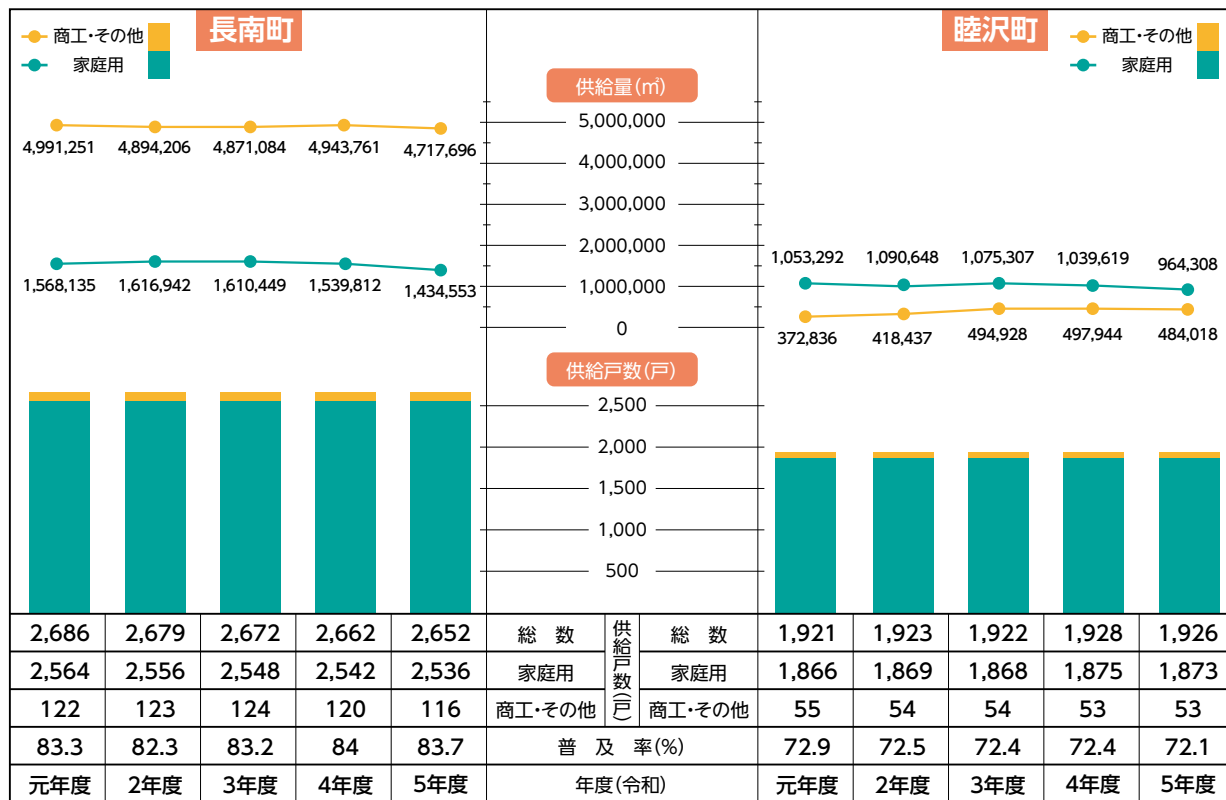
35,100m 100%

町道 395,852m 62.7%

区分	延長(m)	舗装率(%)
町道	幹線(1・2級)	65,339.4 100
	その他(3級)	330,512.6 55.3

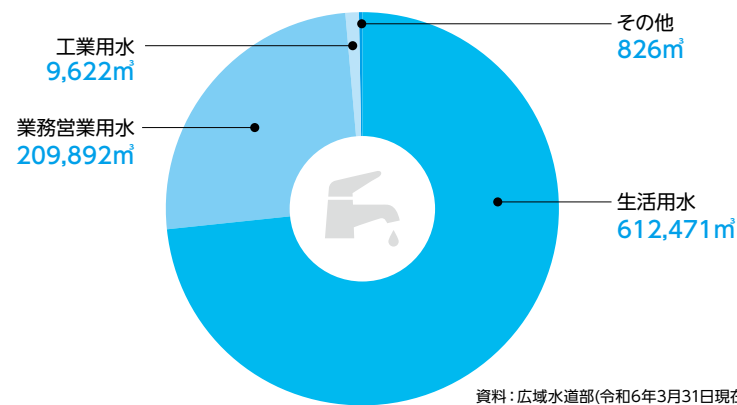
資料：建設課 国道・県道／千葉県道路現況調査(令和5年4月1日現在)、町道／道路台帳(令和6年1月31日現在)

■町営ガス利用状況



資料：ガス課(各年度3月31日現在)

■用途別使用量内訳



■広域水道普及状況

行政区域内人口	7,191 人
給水人口	7,006 人
給水戸数	3,118 戸
普及率	97.4 %
年間有収水量	832,881 m³

※年間有収水量とは、年間の料金収入対象水量のことです。

教育・福祉

Education & Welfare



■保育所の推移

年齢別推移

(単位：人)

年度	区分	定員	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
令和2年度		250	0	21	24	30	37	31	143
令和3年度		250	0	9	23	31	31	37	131
令和4年度		250	3	13	12	25	31	30	114
令和5年度		250	2	11	15	15	25	31	99
令和6年度		250	4	11	15	19	15	27	91

資料：福祉課(各年度4月1日現在)

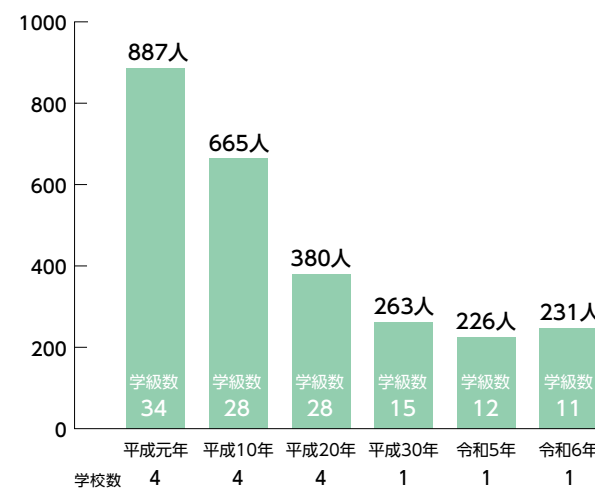
■幼稚園

(単位：人)

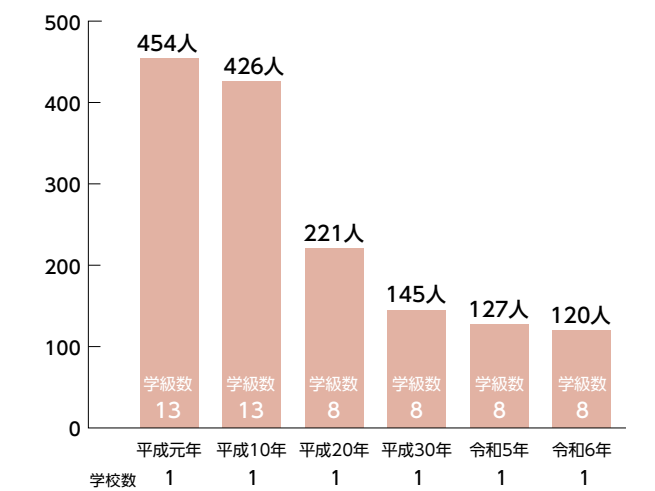
長生学園幼稚園	園 児 数						合計
	3歳児		4歳児		5歳児		
	男	女	男	女	男	女	
	11	9	3	12	11	7	

資料：学校基本調査(令和6年5月1日現在)

■小学校の児童数推移



■中学校の生徒数推移



資料：学校基本調査(令和6年5月1日現在)

■小・中学校施設

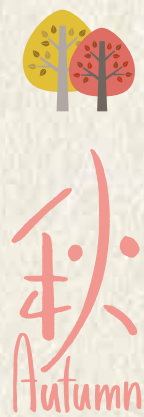
(単位：㎡・人)

	児童・生徒数	校地面積	建物		児童・生徒一人当たり	
			棟数	延床面積	校地面積	延床面積
総数	351	47,065	7	9,946	134.1	28.3

資料：教育課



長南町歲時記



CHONANTOWN MAP

長南タウンマップ

